

## ドイツ連邦共和国最大級の洋上風力発電事業への参画 ～ボークムリフグルンド3・出力90万kW～

2022年2月25日  
関西電力株式会社

当社は、2月10日、ドイツ連邦共和国（以下、ドイツ）のボークムリフグルンド3洋上風力発電事業（以下、本事業）にグレメントパートナーズ社等と共同で参画しました。本事業は、ドイツ最大級の洋上風力発電事業として2025年に商業運転を開始する予定です。また、当社初のドイツにおける発電事業への参画となります。

本事業への参画を通じ、国外におけるゼロカーボン化に貢献しつつ、得られた経験・知見を日本の洋上風力発電事業にも活用していきます。

ドイツは、2045年までのカーボンニュートラル達成を目指し、洋上風力発電を含めた再生可能エネルギーの拡大を積極的に推進しています。本事業は、オーステッド社が開発してきたもので、出力<sup>※1</sup>90万kWを予定しています。

当社はケーピック・ネザーランド社<sup>※2</sup>を通じて、本事業の権益約3.5%を取得しました。これにより、当社の海外における再生可能エネルギー発電事業の持分容量の合計は約108.7万kW<sup>※3</sup>に、海外発電事業における持分容量の合計は約287.6万kW<sup>※3</sup>となります。

当社はグレメントパートナーズ社と、欧州に加えて、アジア太平洋や北米地域においても再生可能エネルギー発電事業への参画に向けて取り組んでまいります。

以上

※1：発電した出力から所内負荷等を引いた出力（送電端出力）

※2：当社が100%出資する投融資会社

※3：商業運転前の参画案件を含んだ値（2022年2月25日時点）

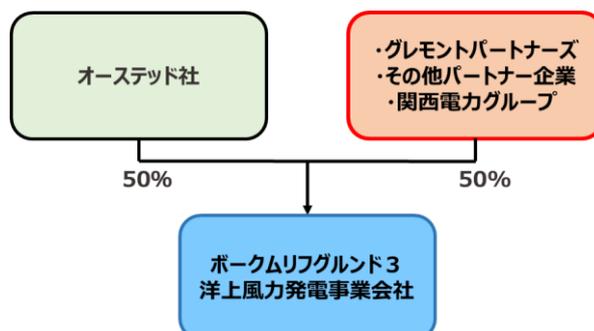
別紙1：ボークムリフグルンド3洋上風力発電事業の概要

別紙2：当社の海外事業一覧

## ボークムリフグランド3 洋上風力発電事業の概要

- (1) 事業実施国：ドイツ連邦共和国
- (2) 発電方式：洋上風力発電
- (3) 発電所：ボークムリフグランド3 洋上風力発電所  
(北西沿岸から約70km沖合)
- (4) 出力：90万kW (送電端)
- (5) 出資者：
  - ・オーステッド社 : 50.0%
  - ・グレモントパートナーズ社  
およびその他パートナー企業 : 約46.5%
  - ・関西電力グループ : 約3.5%

### 【発電所建設予定地】



### <関係会社の概要>

- ◇ オーステッド社
  - 代表者：最高経営責任者 マッズ・ニッパー (Mads Nipper)
  - 所在地：デンマーク王国 フレゼリシア
  - 事業概要：洋上風力等の再生可能エネルギー発電プロジェクトの開発・建設・運営事業等
- ◇ グレモントパートナーズ社
  - 代表者：最高執行責任者 ヨースト・ベルグスマ (Joost Bergsma)
  - 所在地：英国 ロンドン
  - 事業概要：再生可能エネルギー投資事業
- ◇ 関西電力株式会社
  - 代表者：取締役代表執行役社長 森本 孝
  - 所在地：大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号
  - 事業概要：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業等

## 当社の海外事業一覧

### ＜稼働中案件：12件＞

件名	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分容量 (万 kW)
サンロケ水力 (1998. 12～)	フィリピン	ダム式水力発電所	43.5	50.0%	21.8 <sup>※1</sup>
名間水力 (2005. 3～)	台湾	流込式水力発電所	1.7	24.0%	0.4 <sup>※1</sup>
国光火力 (2006. 12～)	台湾	ガスコンバインドサイクル発電所	48.0	20.0%	9.6
ラジャマンダラ水力 (2012. 2～)	インドネシア	流込式水力発電所	4.7	49.0%	2.3 <sup>※1</sup>
セノコ火力 (2008. 9～)	シンガポール	ガスコンバインドサイクル発電所	280.7	15.0%	42.1
ブルーウォーターズ火力 (2013. 2～)	オーストラリア	石炭火力発電所	45.9	50.0%	23.0
ナムニアップ1水力 (2013. 5～)	ラオス	ダム式水力発電所	29.0	45.0%	13.1 <sup>※1</sup>
ウェストデプトフォード火力 (2016. 12～)	米国	ガスコンバインドサイクル発電所	76.8	17.5%	13.4
ヒッコリーラン火力 (2017. 8～)	米国	ガスコンバインドサイクル発電所	100.0	30.0%	30.0
エヴァレイアー陸上風力 (2017. 11～)	アイルランド	陸上風力発電所	22.3	24.0%	5.4 <sup>※1</sup>
アビエータ陸上風力 (2020. 7～)	米国	陸上風力発電所	52.5	48.5%	25.5 <sup>※1</sup>
メドコパワー社合弁事業 5箇所(2021. 4～)	インドネシア	ガス火力発電	20.2	36.0%	7.3
合計			—	—	193.7 <sup>※2</sup>

### ＜開発（建設）中案件（6件）＞

件名	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分容量 (万 kW)
タンジュンジャティB火力 (2022～運転開始)	インドネシア	石炭火力発電所	214.0	25.0%	53.5
トライトンノール洋上風力 (2022～運転開始)	英国	洋上風力発電所	85.7	16.0%	13.7 <sup>※1</sup>
モーレイイースト洋上風力 (2022～運転開始)	英国	洋上風力発電所	95.3	10.0%	9.5 <sup>※1</sup>
ピーパリンマキ陸上風力 (2022～運転開始)	フィンランド	陸上風力発電所	21.1	15.0%	3.2 <sup>※1</sup>
アラヤルヴィ陸上風力 (2023～運転開始)	フィンランド	陸上風力発電所	21.6	49.0%	10.6 <sup>※1</sup>
ボークムリフグランド3 洋上風力 (2025～運転開始)	ドイツ	洋上風力発電所	90.0 <sup>※3</sup>	3.5%	3.4 <sup>※1</sup>
【参考】 セントジョセフ2号火力	米国	ガスコンバインドサイクル発電所	(71.0)	(20.0%)	(14.2)
合計			—	—	93.9 <sup>※2</sup>

<送電事業の参画案件：1件>

件名	国名	概要	送電容量 (万kW)	当社持分
ノイコネクト英独連系線 (2018.2~)	英国・ドイツ	国際連系送電線	140.0	18.3%

<配電・小売事業の参画案件：2件>

件名	国名	概要	設備概要	当社持分
ニュークラーシティ 配電・小売事業 (2019.4~)	フィリピン	配電網の構築、 保守および電力小売	送電線、変電所、 地中配電線、 スマートメーター	9.0%
エレクトリシティ・ ノース・ウエスト社 (ENW社) 配電事業 (2019.7~)	英国	英国中西部で約 240万軒(約500 万人)の顧客への 配電事業	架空線 約12,700km、 地中線 約44,700km 変電所96箇所	22.0%

※1：再生可能エネルギー発電事業。海外における再生可能エネルギー発電事業の持分容量の合計は、約108.7万kW。

※2：関西電力の海外事業における持分容量の合計は、約287.6万kW。

※3：送電端出力。

※値は全て小数点第2位を四捨五入した概算値であり、合計値と一致しない場合がある。